

今回のワークショップの位置づけ

(仮称)水源池公園周辺整備構想づくり ワークショップ

日時 平成22年7月31日 13:00～

場所 水源池公園内 学習センター

ワークショップとは

様々な意見の人が集まって話し合うことが刺激となり、新しい学びや発見のための手法

様々な人が参加し、頭だけでなく身体や五感を使って共同作業をしながら、相互に学習したり、あるいは成果を創造する行為・活動

ところで、まちづくりは誰のために、誰がやるの？

まちづくりの最終結果の享受者

市民

市民主体の参加型まちづくりにおける手法

ワークショップとは

今回のワークショップ

市民の参加者、市職員のファシリテーター

ファシリテーター

- 各グループの先導役、とりまとめ
- 議論をスムーズに調整しながら合意形成や相互理解に向けて深い議論がなされるよう調整する役割を負った人
- 議論に対して中立の立場

今までの市のまちづくり・都市づくりの手法

- ・ **市民等からの要望などから、市側で施設整備メニュー、デザイン、景観などの構想策定**
- ・ **公共施設の整備・改修**
- ・ **ソフト事業（運営・経営・人活動）は後追い**
- ・ **造ったら、後は担当課、関係団体にまかせっきり**

造った後の、まちづくりへは消極的？

まちづくりにおける目標の達成

景観を活かした観光地を創出する

- ・ 公共施設を整備・改修する

アウトプットに着目

市だけでもできる

担当者の判断・センス、標準的な仕様、
特定組織の要望
従前の都市づくり手法

まちづくりにおける目標の達成

憩いの観光ゾーンをつくろう
訪れる観光客・地域の交流を拡大させる

アウトカムに着目

- 観光・地域交流を促すためにどのように整備・改修すればよいか？
- 交流拡大のための必要なソフト事業は？
- 創出後の持続性、改善策による交流拡大

まちづくりにおける目標の達成

訪れる観光客・地域交流の拡大

大目標：目的

まちづくり(造る・活動)の主役は市民
多様化・高度化する価値観・市民ニーズ
地域の特色・個性豊かな活力のある地域づくり

市だけで、目標の達成はむずかしい

市民協働のまちづくりが不可欠
景観を活かしたまちづくり

市民協働のまちづくり

(仮称)水源池公園周辺整備構想づくりワークショップ
の開催

大目標＝目的：訪れる観光客・地域交流の拡大

市民目線で構想を練り上げていく

現実的・具体的な構想書
を策定

(仮称) 水源池公園周辺整備構想づくりワークショップ

作業内容

